



建設コンサルタントとは



JCCA 一般社団法人 建設コンサルタンツ協会
Japan Civil Engineering Consultants Association





建設 コンサル タント とは？

- 公共インフラ整備の実現に向けて、企画や調査計画、設計に関する技術コンサルティングサービスを行うことや人のことです。
- 建設の言葉がついていますが、大型機械を使い工事を行うわけではありません。
- 道路や橋の老朽化や防災対策など、公共インフラ整備の課題に対して解決策を提案します。
- 公共インフラ整備にかかわる専門知識と高度な技術で、まちづくりを支えています。
- ほかでは得られないやりがいや使命感、達成感がある仕事です。

魅力

1 社会への 貢献度が高い!!

社会活動を行う上で欠かせない
公共インフラ整備に関わる仕事

近年、頻発する自然災害から
被害を防ぐための仕事

人々の安全・安心な暮らしを
守るという仕事

魅力

2 自分の仕事が 形として残る!!

企画、設計したものが
完成した時の大きな感動

この先、何十年もその地域で
生活を支え続ける永続性

自身が手掛けた土木施設が
将来に亘り生き続ける醍醐味

魅力

3 活躍できる様々な フィールド!!

活躍できる分野は河川・道路・
環境をはじめ22分野も

選択した分野でプロフェッショ
ナルエンジニアに成長

複数の分野も選択可能、活躍で
きるフィールドは多様

魅力

4 技術の専門家!!

専門技術の知識や最新技術を
成果に反映

安全性はもちろん経済性や機能
性など幅広い知識で社会に貢献

技術の専門家として地域の
発展に寄与

Civil Engineering Consultant

ポジションはどこ？

発注者

行政機関（官公庁・関係機関など）
外国政府、国際機関
民間企業、民間業者
国際協力機構（JICA）

発注・契約

コンサルティングサービス提供
成果品（調査設計報告書、
設計図面、設計計算書等）の納品

工事の発注

工事の施工

建設コンサルタント

ゼネコン・メーカー

業務範囲はどこまで？

企画設計

施工～運用

企画

調査

計画

設計

施工

施工
管理

運営維持
管理支援

建設コンサルタント

ゼネコン
メーカー

建設コンサルタント

自分の仕事が 形となって長く残る



プロ集団の中で切磋琢磨しながら、
自分のアイデアや設計が
実際に完成していく面白さと
やりがい魅力

私が所属しているインフラマネジメントセンターは名前のとおりインフラを対象とし、中でも私は橋梁、特に耐震補強を担当しています。河川が多い日本には72万もの橋があります。中でも特に重要度や補強の必要性といった観点から優先順位の高い橋について、国や自治体から受注して点検・調査し、最適な補強設計を行っています。どのプロジェクトでも必ず現地調査を行いますが、初めて設計を担当した橋に行った時には、「この橋がこれからも長く残り、人々の生活を支えていくのだと思うと、それまで当たり前に見ていた風景がまったく違って見えて感慨深かったのを覚えています。

学生時代の専攻

創成科学研究科・施設材料学
(コンクリート) 修士課程

現在の担当している業務

橋梁の維持管理計画、
補修・保全・補強設計業務全般

建設コンサルタントは企画立案から計画策定、調査、設計、施工管理、維持管理まで建設事業の全般に関わり、主導します。確かな知識と経験に裏付けされた高い技術力が求められる仕事です。その分、責任は重いですが、学生時代、そんなカッコいいプロフェッショナルになりたいと思い、志しました。特に当社は総合コンサルタント会社なので多分野の技術者と交流でき、最新の知識や技術を吸収する機会が多いのも魅力です。同じチーム(班)の仲間と意見を交わし、検討を重ね、実際に計画が形になっていく様子を見るのは毎回、とてもやりがいを感じます。忙しい日々ですが、休日にはツーリング(バイク)や釣りに出かけて心身を癒やしたり、家でのおんびりお気に入りのソファで映画を楽しんだりしています。



わたしの夢 ~キャリア形成~

今の一番の夢は、まずは今、自分が担当する補強設計計画をもとに実際に橋梁という社会資本が整備されることです。計画立案や設計図面の制作にも達成感がありますが、やはり実際に形になった時、初めて「社会の役に立てたと実感できると思うのです。中期の目標としては、管理技術者になるために技術士の資格を取得すること。総合的にプロジェクトを管理し、チームを統括できる知識と技術が求められます。さらにその先には照査技術者を目指したいと考えています。そのためには一つ一つ、目の前の課題にしっかり取り組んでいくことだと思っています。

学生時代の専攻

工学部市民工学科

現在の担当している業務

河川河道計画検討、
調整池計画設計業務全般

自然災害への警戒が進む中、重要性を増している仕事。自然も人も守れる設計を目指したい。

安心・安全な河川の整備のために

入社後、希望していた河川部に配属され、2年目を迎えました。治水工事による河床変動の予測や氾濫に関する計算など、治水に関わるさまざまな業務にたずさわり、日々、経験を積み重ねているところです。水害や土砂災害を防ぐだけでなく、河川やその周辺に生息する生き物や植物も守る持続可能な開発のために、環境評価などにも力を入れています。

学生時代に水理学を用いた研究を行うなど、もともと河川の流れ等に興味があったことから河川分野に携わることのできる現在の会社を志望したのですが、実際に業務に携わるようになって初めて学ぶことの連続でした。ただ、上司も先輩もとても相談しやすく、一人で抱え込むような状態になることはありません。また、業界でも女性技術者はまだ少数派で、若手を中心に増えてきているのが現状ですが、社内で女性技術者のグループをつくり、安心して何でも聞ける体制もできています。

実際に初めてプロジェクトで氾濫計算や河川の水量調節に欠かせない調節池に関わる提案を任せられ、やり遂げた時には大きな達成感がありました。どんな河川にどんな調節池をどう置くかによって、氾濫時の被害も環境への影響も大きく変わってきます。この仕事の魅力は、常に新しいことを学べること、目に見える形になって出来ること、チーム皆でつくりあげていく面白さがあることだと思います。これからも日々学び、自分らしく成長していければと思っています。



わたしの夢 ~キャリア形成~

ゲリラ豪雨や大規模な水害が社会的に注目され、SDGsへの取り組みも急がれる中、河川にかかわる建設コンサルタントという仕事は、今後ますます重要度が増していくと思います。調査や計算などに関する技術力に加え、解析したり課題解決のための提案をしたりといった検討に必要な力、プレゼンのスキルなども高めて、よりよい仕事ができるようになりたい、総合的な実力をつけて主体的に仕事を進めていけるようになりたいと思っています。

私たちの仕事紹介

若手技術者

Bさん

2020年
入社

先輩社員が語る

私のあの頃、そして今。

何年たっても面白さの尽きない仕事。
新たなことに挑戦し続ける充実した日々です。



学生時代の専攻

工学部 土木環境工学科
研究室の主な分野：交通計画

現在の担当している業務

公共交通機関のターミナル計画および設計全般

道路そのものに加え、付随する交差点や電柱の地中化など幅広いプロジェクトに関わる道路設計部に所属し、中でも今は特に駅前広場の整備を担当しています。バスやタクシーといった交通のスムーズな流れを確保し、人々が安全かつ快適に移動したり利用したりできる設計を考え、プロジェクトを進めていきます。駅前広場の場合、一般の道路と異なり、設計に関する明確な基準がありません。自由度が高い分、面白さもある一方、いろいろな現場を見て事例から学ぶ積極性も求められます。入社した頃は専門性の高い技術者を目指していましたが、今はむしろ多様な分野の知識と広い視野をそなえたマルチプレーヤーとして活躍できるようになりたいと考えています。今年、子供が生まれ、3カ月の育休を取りました。妻も建設コンサルタントで男女差のない職場ですが、やはり男性ではまだ珍しいケースです。仕事の仕方、ワークライフバランスの取り方といった面でも新たな形を追求していけたらと思っています。

目指すのは喜ばれる「空間づくり」。
育児と両立しながら成長し続けたい。

学生時代の専攻

都市デザイン、空間デザイン

現在の担当している業務

PPP・PFI関連業務全般

私が手がけているのは、主に図書館や公民館などの公共施設です。計画にあたっては「どんな建物・空間にしたら利用しやすくなるか」と利用者目線で考えると同時に、いかに自治体の財政負担を抑えるかといったことも考慮し、計画案を練ります。自治体や市民との打ち合わせやワークショップなどもあり、コミュニケーション力も重要です。社会貢献度が高い仕事であると同時に、ゼロからつくりあげていくので、「新しいものをつくるのが好き」「オリジナリティを生かしたい」といった人にも向いていると思います。新人時代は力不足を痛感して落ち込むこともありましたが、チームと試行錯誤して作り上げたものが評価されたり、建物が出来上がったことで、手応えや面白さを感じられる仕事だと感じています。今は幼い子どもが2人いて時短勤務中です。職場のサポートも手厚く、お願いするところはお願いする一方、毎日短時間でも学習等の自分のための時間を持ち、成長し続けていきたいと思っています。

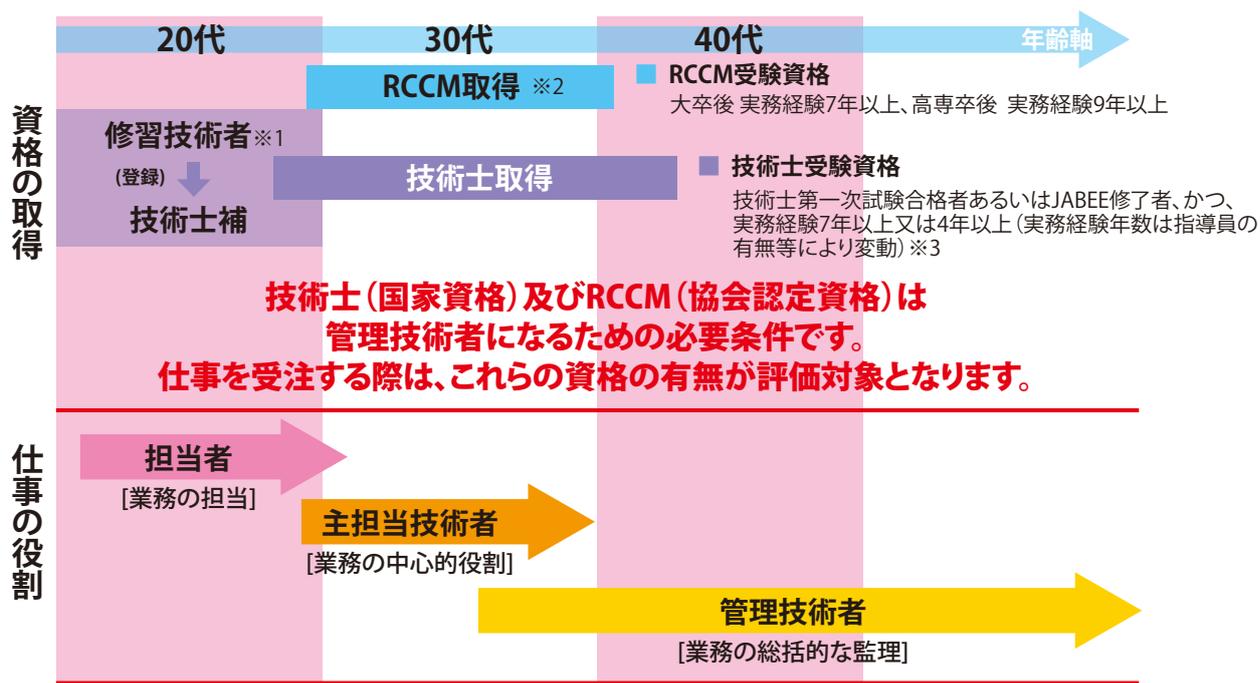


建設コンサルタントの

資格とキャリアアップ

建設コンサルタント業界では、社会的に重要な役割を担うという意義ややりがいがあることに加え、個人の能力を発揮できるチャンスがたくさんあります。これらのチャンスや仕事の経験を活かし技術者としての総合力を高め、より一層高いレベルの社会貢献ができるよう向上していくことが大切です。その際、客観的な技術力の裏付けとなる「資格」を取得することも重要です。優れた人材を迎え、さらに魅力ある集団として発展していきたいと考えています。

キャリアアップモデル



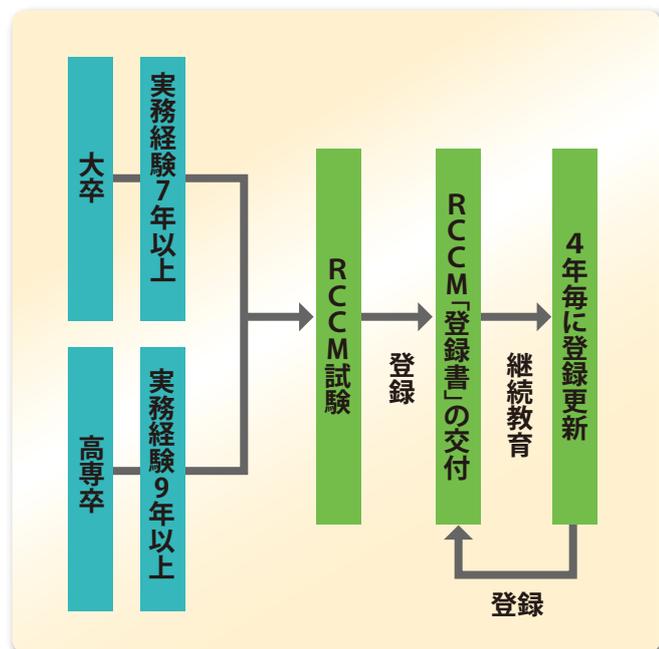
※1 技術士第一次試験合格者又はJABEE修了者

※2 シビルコンサルティングマネージャー (RCCM)

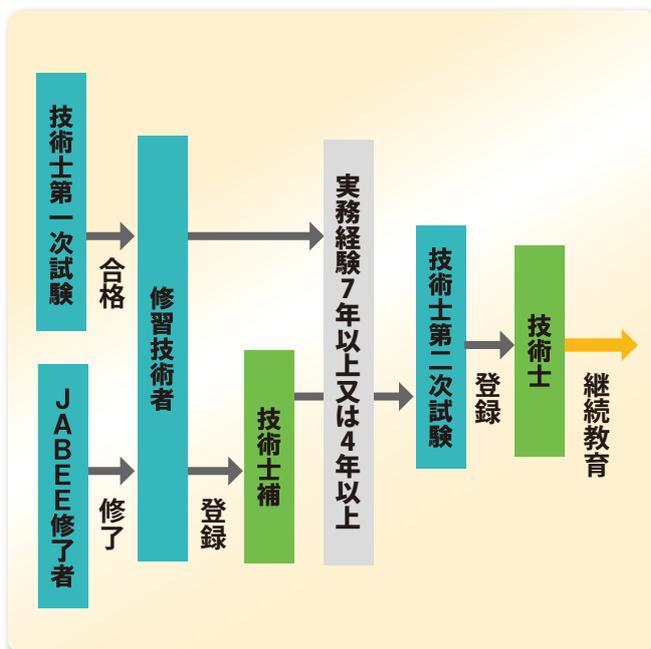
※3 技術士第二次試験の受験資格は公益社団法人日本技術士会のホームページを参照してください。

https://www.engineer.or.jp/c_topics/000/000083.html

RCCM取得までの流れ



技術士取得までの流れ



建設コンサルタントの分野

- 1 河川、砂防及び海岸・海洋
- 2 港湾及び空港
- 3 電力土木
- 4 道路
- 5 鉄道
- 6 上水道及び工業用水道
- 7 下水道
- 8 農業土木
- 9 森林土木
- 10 造園
- 11 都市計画及び地方計画
- 12 地質
- 13 土質及び基礎
- 14 鋼構造及びコンクリート
- 15 トンネル
- 16 施工計画、施工設備及び積算
- 17 建設環境
- 18 機械
- 19 水産土木
- 20 電気電子
- 21 廃棄物
- 22 建設情報

一般社団法人 建設コンサルタンツ協会

- 北海道支部** 札幌市厚別区厚別中央1条5丁目4番1号 (株)ドーコン内
東北支部 仙台市青葉区国分町3-6-11 アーク仙台ビル7階
関東支部 新宿区西新宿3-8-4 BABAビル5階
北陸支部 新潟市中央区新光町6-1 興和ビル7階
中部支部 名古屋市中区丸の内1-4-12 アレックスビル 3階A室
近畿支部 大阪市中央区大手通1-4-10 大手前フタバビル5階
中国支部 広島市中区八丁堀1-8 八丁堀GRIT8階
四国支部 高松市福岡町3-11-22 建設クリエイトビル4階
九州支部 福岡市博多区博多駅東2-6-26 安川産業ビル9階

本部事務局 〒102-0075 東京都千代田区三番町1番地KY三番町ビル8階
TEL : 03(3239)7992 FAX : 03(3239)1869
<https://www.jcca.or.jp>

更新日:2024年7月

発行日:2022年1月